

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0021

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	美術品DXによる管理適正化・市場活性化推進事業			担当部局	文化庁			作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定) 年度	令和8年度	担当課室	文化経済・国際課			課長 寺本 恒昌	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術基本法 第15条			関係する 計画、通知等	成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日閣議決定) 文化芸術推進基本計画－文化芸術の「多様な価値」を活かして、未来をつくる－(第1期)(平成30年3月6日閣議決定) 文化経済戦略(平成29年12月27日内閣官房・文化庁)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション、観光立国、クールジャパン、知的財産			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国が誇る有力な美術品を「ナショナル・コレクション」として国内外に発信すべく、美術館・博物館における管理の徹底及び民間に所在する美術品の捕捉をDXを通して実現する。まず、美術品・文化財の管理を標準化し、全国主要な美術館と民間(個人コレクター、企業等)が保有する美術品のうち、真に重要なものをICタグ等で分散管理。その情報を一元的に取得するシステムを開発することで、美術品情報の提供、管理の適正化を図る。あわせて、美術品のトレーサビリティの確保による取引の透明性の向上を図り、より活発な取引市場を作り出すことも目指す。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国内美術館・博物館のドキュメンテーション(コレクションの情報記録方法)を明確化して標準化し、標準化された方法に則り、既存システムと連携して、ブロックチェーンを活用して、美術館・博物館の収蔵品の管理を標準的な方法で一律に実現し、我が国の美術館・博物館が保有する収蔵品の見える化を促す。同時に、市場や民間(コレクターや倉庫、運送会社等)にも同様の仕組みを導入して、美術品・文化財の流通情報の標準化による流通促進を図る。								
実施方法	委託・請負、補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
		当初予算	-	-	-	44			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	0	0	0	44	0			
	執行額	0	0	0					
執行率(%)	-	-	-						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-						
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	文化芸術振興委託費	44							
	計	44	0						
活動内容 (アクティビティ)	我が国美術館・博物館における収蔵品情報の取り扱い方法の標準化を進める。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	国内美術館・博物館の収蔵品取り扱い方法を標準化する。	コレクション取り扱い方法の標準化件数	活動実績		-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	1	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	委託契約額の合計/委託件数			単位当たり コスト	百万円	-	-	-	44
				計算式	委託額/委託件数	-	-	-	44/1
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 8 年度
	日本国内のアート市場規模	日本国内のアート市場の取引高を世界第4位のフランス(2019年約4,200億円)に次ぐ規模に引き上げる	成果実績	億円	2,580	2,363	2,186	-	-
			目標値	億円				-	4,000
			達成度	%				-	-

根拠として用いた統計・データ名 (出典)	エーアート・芸術と創造「日本のアート産業に関する市場調査」								
活動内容 (アクティビティ)	標準化された仕組みを活用したICタグとブロックチェーンの紐づけを実施し、美術品の流通の促進を図る。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	美術品におけるICタグとブロックチェーンの紐づけを推進する。	タグ付けされた美術品の公開件数	活動実績		-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	1,000	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 8 年度
	国内ミュージアムが保有するコレクションの貸与の増加	タグ付けされた美術品の貸与件数の増加	成果実績		-	-	-		
			目標値		-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	事業結果								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	我が国の美術館・博物館は購入予算ゼロが60.5%、収蔵庫がほぼ満杯が33.9%、オンラインで収蔵品を公開しているのが24.8%であり、DXによる業務改善、収蔵品の相互貸借による活性化は必要不可欠である。また、市場においても取引履歴が明確になることは、取引の信頼性を高め、市場を活性化することに貢献すると考える。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国全体の標準化は一美術館や地方自治体で行えるものではなく、政府の関与が必須である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	標準化、DX化という業務効率化を比較させる手法を活用しており、成長戦略等、政府の重要な戦略に位置付けられている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	競争性を担保した形での企画競争を予定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	事業番号		
	事業名		
点検・改善結果	点検結果		
	改善の方向性		

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。
引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。

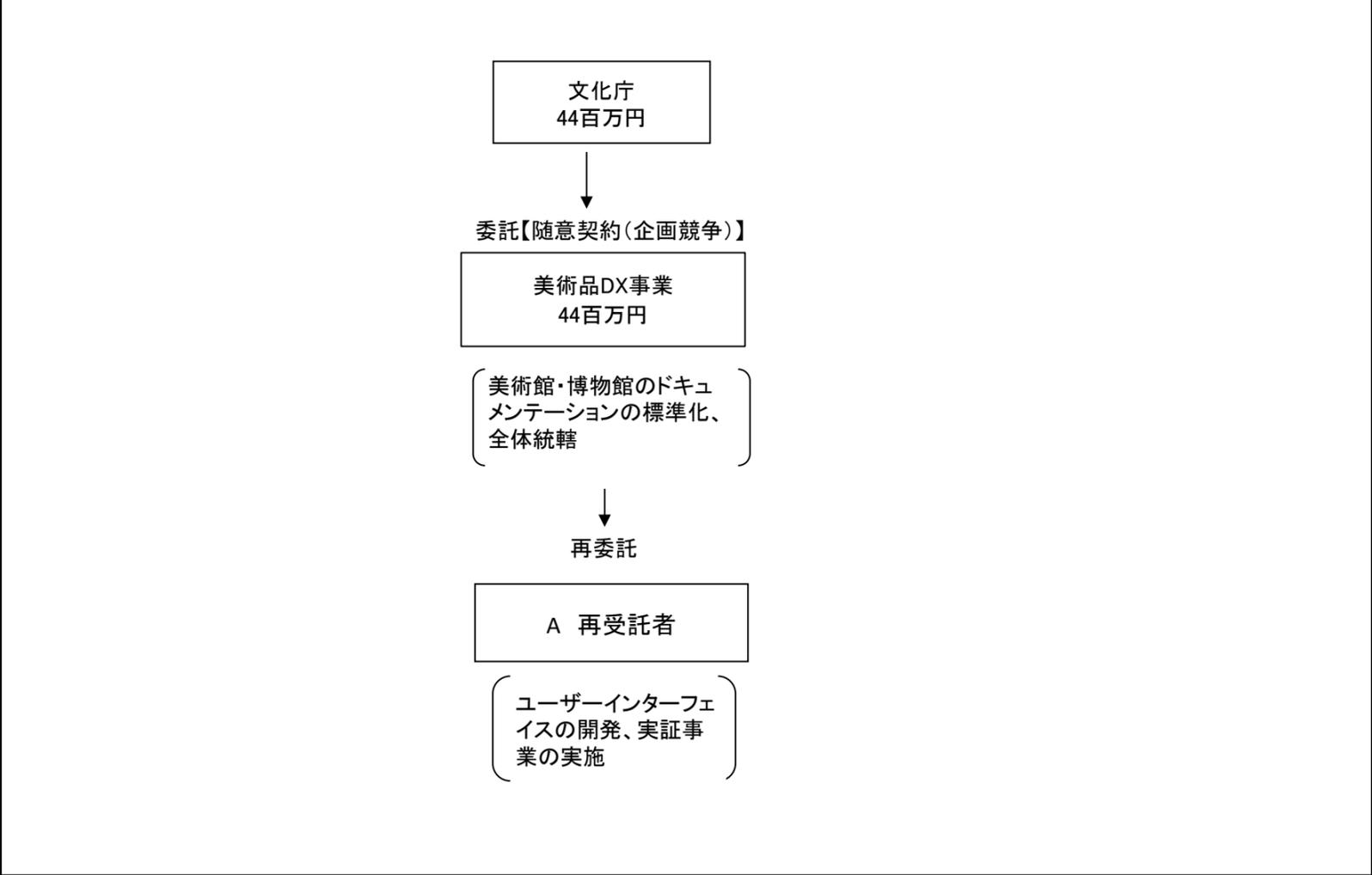
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度	文部科学省	-		
令和2年度	文部科学省			
令和3年度	2021	文科	新22	0033

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と用途の 双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	-	-	-	-	-	-
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	